

令和5年度第1回吹田市スポーツ推進計画（スポーツ施設整備方針）策定会議 会議概要

- 1 日 時 令和5年6月19日（月） 18時から19時30分
- 2 場 所 吹田市役所高層棟4階 特別会議室
- 3 出席委員 富山委員長、松井委員、下岡委員、孫田委員、望月委員、村林委員、中野委員、林委員
- 4 欠席委員 祐末副委員長、山本委員、水谷委員、前田委員
- 5 事務局 井田都市魅力部長、西田文化スポーツ推進室長、金参事、中野参事、大村主幹、守屋主査、及川係員
- 6 議 題 (1) スポーツ推進計画（素案）について
(2) スポーツ施設整備方針（素案）について
(3) その他

7 議事概要

発言者	内容
委員長	それでは、議題1「スポーツ推進計画（素案）について」、事務局から説明をお願いします。
事務局	【議題（1）スポーツ推進計画（素案）について】 <資料に基づき説明>
委員長	「子供」「子ども」と表記が混在しているため、統一が必要。
事務局	固有名詞を除き、「子供」に修正する。
委員長	18ページのガンバ大阪についてのアンケートで、ガンバ大阪を応援しているという回答が約40%で、個人的には低い印象を受ける。
A委員	約40%の人に応援いただいているのは大変有り難いが、Jリーグが盛んな他市のことを思うと、ホームタウンとしてはもう少し高くてもよいのではないかと感じる。スタジアムがある他市では商店街等での地元チームの露出も多いが、正直なところ、吹田市の場合はガンバを応援してくれている雰囲気を感じにくい。もっと露出が増えるとスポーツを身近に感じてもらえる人も増えるのではないか。
委員長	ガンバ大阪ののぼりを立てている店もあるが、商店街一帯に並んでいるよ

	<p>うなところはあまり見かけない。</p> <p>34 ページの施策 2-1 について、ガンバ大阪とその他のアスリートを区別してはどうか。ガンバ大阪は「プロスポーツチーム」、企業や大学等で活躍する選手は「アスリート」や「トップアスリート」と、区別した記載がいいのではないかと。</p> <p>また、ガンバ大阪との交流については、交流そのものが目的ではなく、交流することでどうしたいのかというところの言及が必要ではないかと思う。</p>
事務局	<p>ガンバ大阪との交流の意図としては、選手への憧れや、それによるスポーツへの参加促進などがあるので、目的が伝わるような記載に修正する。</p>
B 委員	<p>24～25 ページでは、アンケート結果に基づき適切に課題の整理がなされており、証拠に基づいて政策を進める「EBPM (エビデンス・ベースド・ポリシー・メイキング)」という非常に重要な取組であり素晴らしい。</p> <p>そのうえで、各課題の根拠となったデータの該当ページを載せておくと見やすくなる。また、現在は 2 (3) という階層に位置付けられているが、データに基づきしっかりと課題を整理できているので、3 の階層まで上げてもいいのではないかと。</p> <p>また、資料 2 については、施策体系の理解を促すうえで重要な図なので、推進計画に掲載すべき。</p>
事務局	<p>資料 2 の施策体系についてはデザイン等を改良したうえで掲載したいと考えている。</p>
委員長	<p>14 ページに記載の子供の体力が低下について、平均値としては低下しているが、二極化も指摘されているので、その点もデータがあれば言及してもいい。</p>
C 委員	<p>計画素案を確認したところ、かなり見やすく、内容もわかりやすくなった。</p>
委員長	<p>大学との連携の点からはどうか。</p>
C 委員	<p>大学生との連携にはアピール方法が重要になる。4 年生になると就職活動が始まり、ボランティア活動などに取り組みたいという学生も多い。吹田市は活気のある学生が多いので、その機をとらえてうまくアピールできれ</p>

	ば多くの大学生を集めることができるのではないかと。
D 委員	大学生の有効活用は一つの手だと思う。ボランティア活動は人格形成や社会貢献の意識など、就職活動においてアピールポイントとなる。大学生に対してはそういう点を PR できればいい。
E 委員	地域においては指導者が不足し、新しい人が入らなくなっていることで高齢化も進んでいるので、様々な連携ができればいい。 ガンバ大阪については、クラブができた当初、地域は非常に盛り上がり、その時の夢のような体験や憧れなどが育って、地域ではサッカー熱が高く、活性化している。その中で、ガンバ大阪を応援している市民の割合が40%という数値は寂しいものがある。ガンバ大阪を応援する意識を全市民にどのようにアピールできるかが課題だと思う。
F 委員	市内の子供の体力が全国平均を下回っている点にがっかりしている。子供の体力低下の理由を明記することが必要かと思う。 また、計画内に英語表記が多く、一般の人が見たときにわかりづらいかと思うので、考慮いただきたい。
G 委員	他市町村と比べて吹田市民は運動している人が多いイメージだったので、子供の体力が全国平均を下回っていることを意外に感じた。 大学との連携については、イベントの際のボランティアや、教室での指導の中でサブとして入っていただくことなどできればよい。そういうことに関心のある学生がたくさんいるので、そのような形で呼びかけていければと思う。
委員長	企業と大学生が個別でつながっているケースもあるので、その掘り起こしも大切かと思う。 30 ページに学校体育施設の開放とあるが、現状できているのか。
事務局	小学校 36 校、中学校 18 校のうち小学校 1 校だけはできていないが、それ以外は全て開放している。
委員長	チームが団体登録して利用するのか。
事務局	基本的には小学校区、中学校区の地域住民や勤労者を対象にしており、全

<p>委員長</p>	<p>市的に集まるようなチームについては有料のスポーツ施設を利用しているだけでということ案内している。</p> <p>学校開放の方針が変わるのではなく、既に実施していることの充実ということかと思う。</p> <p>31 ページのスポーツ情報の収集と発信のなかで、身近な場所でできるスポーツの情報として、市内のウォーキングコースやその距離などの情報のほか、スポーツ施設以外でこんな運動ができるといったものを、マップなどを用いて発信すれば身近な場所での運動のきっかけになると思う。</p> <p>e スポーツのことも書かれているが、記載の仕方が難しい。「社会動向や他自治体の取り組みを注視し、検討していきます」という表記は現実的であるが、これらを推進するかしないかを明確にするなど、書き方を工夫してもよいかもしれない。</p>
<p>委員長</p>	<p>続いて、議題2「スポーツ施設整備方針（素案）について」、事務局から説明をお願いします。</p>
<p>事務局</p>	<p>【議題（2）スポーツ施設整備方針（素案）について】</p> <p><資料に基づき説明></p>
<p>G 委員</p>	<p>9 ページに各施設の評価結果について、⑤施設状況が1 というところの改善が大事になってくる。山田市民体育館や山田スポーツグラウンド、片山市民体育館と片山市民プール、北千里市民体育館と北千里市民プールなどはそれぞれ隣接しているが別々に施設管理を行っている。効率的な運営のためには一つにまとめて運営することも必要であり、指定管理料の削減にもつながるのではないかと思う。また、その削減できた分を修繕に充てることなどもできる。</p>
<p>事務局</p>	<p>現在はスポーツグラウンドや体育館という分類ごとに指定管理をしているが、今後のありかたについては、今の意見も踏まえて検討していきたい。</p>
<p>F 委員</p>	<p>3 ページの吹田市公共施設（一般建築物）個別施設計画と整合を図るとはどういう意味か。</p>
<p>事務局</p>	<p>吹田市公共施設（一般建築物）個別施設計画というのは、スポーツ施設を</p>

	<p>含む市内公共施設の今後の方向性を示す市全体の大きな計画である。</p> <p>スポーツ施設に関しては、今回策定する整備方針を踏まえ、来年度には各スポーツ施設ごとのもう少し具体的な整備や修繕内容等を整理した計画を作っていきたいと考えている。</p> <p>それぞれの計画の整合を取りながら進めていきたいと考えている。</p>
F 委員	<p>どちらかが優先されるということか。</p>
事務局	<p>市全体の公共施設を対象とする大きな計画である「吹田市公共施設（一般建築物）個別施設計画」を優先する必要があると考えており、令和7年度にこの計画を見直す際に、今回策定する「スポーツ推進計画」や「スポーツ施設整備方針」、来年度整理する予定のスポーツ施設ごとの整備計画の内容を反映させていくことで整合を図っていきたいと考えている。</p>
C 委員	<p>片山市民プールも片山市民体育館も古いが、50年を超えているとは思わなかった。修繕と建替のバランスが難しいと感じる。</p> <p>私は小学生の頃、片山市民プールの水泳教室に通っており、そこでコミュニティも広がった。特にプールは、陸上やサッカーなどとは違い、身体に障がいのある人も気軽に利用しやすい面があり今後も残してほしい。</p> <p>一方、スケートボードなどのアーバンスポーツについてはトレンドではあるが、障がいのある人は参加しにくいという点もあると思うので、幅広い人に使ってもらおうということでは、プールや体育館等の既存施設の維持を優先的に考え、長く利用できるようにしていただきたい。</p>
事務局	<p>アーバンスポーツなどの新しいスポーツは流行り廃りもある。今回のスポーツ推進計画や施設整備方針の素案にも記載があるように、多種目・多目的で活用しやすい施設を整備するなかで、これらの新しい種目も吸収できるようにしていきたい。</p>
B 委員	<p>13ページの課題の整理については、推進計画と同様にデータに基づいて整理されているということで各課題の根拠となったデータの該当ページを載せておくほうがよい。</p> <p>次に、課題の1点目の施設等の老朽化については、各スポーツ施設の設置年を含め基本的なスペックがわかるデータを掲載したほうがよい。</p> <p>また、8ページの評価基準の⑤施設状況の評価基準として、問題のある・なしで点数が付いているが、評価にあたって施設のどの点に問題があるの</p>

	<p>かがわかるようにしないとわからないのではないか。7ページの評価の視点の⑤の項目の記載を追記してもよい。</p>
事務局	<p>吹田市公共施設（一般建築物）個別施設計画の内容を確認し必要に応じて修正する。</p>
A 委員	<p>14ページの方針について、方針1では流行りすたりへの対応等で多種目を盛り込む一方、方針3では特色のある施設、方針4では子供がスポーツに親しむことができる施設となっている。広く使えるようにしたがために、特色がない施設になるということはよくある。広く使えるようにしたうえでいかに特色を出すかということではあると思うが、アンケート結果を見ると、あまり使われておらず人が集まる場所になっていない、旧来のただの体育施設でしかないように感じる。</p> <p>老朽化した施設のリニューアルそのものに重点を置くのか、それとも、もっと人が集まるような方向で整備する方針なのか、その辺りがわかりづらいと感じた。</p>
事務局	<p>例えば、現在、市内に5館ある体育館は、同規模・同用途に近い。5館あることによる身近で利用しやすい施設としての機能を維持しながら、各館に特色のある機能や設備を付加できれば、利用者の幅も広がっていくと考えており、方針1と3を両立していくようなイメージで考えている。</p>
A 委員	<p>スポーツを推進していくためには、新しい人にスポーツに取り組んでもらうことや、人が集まるという点を考えなければならない。方針1はベースとしながらも、方針3は具体性を持たせる形で書き方を検討したほうがよいと思う。</p>
事務局	<p>施設整備方針ではハード面を記載しているが、推進計画の方で人が集まるような環境づくりや新たにスポーツに取り組んでもらうきっかけづくりなどのソフト面も記載しており、両輪で進めていければと考えている。</p>
委員長	<p>方針1にある「多種目・多目的」や「様々な種目の受け皿になることのできる施設」というのは、野球場でサッカーをするというような意味合いか。</p>
事務局	<p>その通り。現在のスポーツ施設は種目等が限られているため、ハード面に手を入れたうえで、あわせて運用等も変えていくことで、より利用しても</p>

	<p>らえる施設にしていければと考えている。</p>
<p>委員長</p>	<p>方針2にあるインクルーシブの視点をもつ施設に、国籍という言葉が出てくるが、どういう意図か。多言語対応というニュアンスなのか。</p>
<p>事務局</p>	<p>推進計画の基本目標の中にある記載を活用しているが、国籍等に対応する具体的なところまでは落とし込めていない。</p>
<p>委員長</p>	<p>インクルーシブの言葉からは、障がいの有無にかかわらずといったような視点はなじむが、国籍にはなじまないのではないか。</p> <p>また、インクルーシブの視点でいえば、障がい者専用施設か共用施設かということがよく議論になる。最終的には障がいのある人もない人も同じ施設で活動できることが目的であるが、現在は障がい者スポーツセンターが必要だという論調がある。障がいの有無にかかわらず一緒に利用できるというインクルーシブの視点を持つ施設を目指すのなら、専用ではなく共用であるということがわかる記載をしてもいい。</p> <p>人が集まるという点では、全国的に体育館などのスポーツ施設と、ホールや図書館などのスポーツ以外の施設が融合し、にぎわいを創出している事例があるので、そのような整備のあり方も検討してもいい。</p> <p>さらに、市を挙げてスポーツ推進に取り組むということからは、例えばジョギングやウォーキングができる公園整備やサイクリングロードの整備など、他部署に働きかけながら進めるという点も記載があればいいのではないか。</p> <p>府のアリーナが万博記念公園駅前に出来る。市の施設ではないが、そのアリーナを活用して市が取り組めることもあるかと思う。市の施設かどうかにかかわらず、市民に活用してもらおうという視点が大事。</p>
<p>事務局</p>	<p>施設の複合化については市内の全体的な方針としてもあり、具体的な施設整備を進めるにあたっては検討事項になってくるものと考えている。</p> <p>スポーツ推進の取組については、スポーツ推進計画に記載している通り、他部署との連携を図りながら進めていく。</p> <p>府のアリーナを含めた周辺施設や類似施設等については、今後スポーツ施設の整備やあり方を個別具体的に検討していくにあたっては意識していくことになると考えている。</p>
<p>委員長</p>	<p>施設整備の際には、LEDライトへの変更、太陽光パネル設置による再生</p>

	可能エネルギーの活用など環境配慮型の施設整備についても必要になる。
B 委員	推進計画と施設整備方針を一冊にまとめるのであれば、環境配慮等については、推進計画の SDGs に関する記述がある辺りで他分野のゴールとの連携や波及効果として記載できるかもしれない。
A 委員	江坂駅前にパーク PFI の公園があるが、スポーツ推進とは関わりがないのか。
事務局	江坂公園にはスポーツ施設がないため関連はしていないが、パーク PFI については、場所や整備の時期が一致するものは、積極的に連携を考えていきたいと思っている。
委員長	推進計画の売りの一つは「する」「みる」「ささえる」の次に「つながる」が付いていること。推進計画に施策や事業が掲載されているが、事業を通して市民がつながるイメージやつながり方の形を示すとわかりやすいかもしれない。
C 委員	推進計画の 31 ページ、スポーツ情報の収集と発信については、どのような媒体を想定しているのか。
事務局	市報やホームページや SNS 等を想定している。地域での様々な取組をうまく集約した形での発信ができていないので、これらの媒体を活用して発信できればと考えている。
C 委員	市報はアナログではあるが、ホームページや SNS と比べて効果が高いように思う。特に年齢の高い人にとって、紙媒体はデジタル媒体よりも情報伝達の度合いが大きいので、紙面の都合はあると思うが、スポーツをしている人を市報で紹介できれば、それを見た人が刺激を受けてスポーツへの意欲が高まり、紹介された側も誇らしさを感じるのではないかと思う。
D 委員	推進計画の 14 ページに子供の体力が低下していると書かれているが、その原因はわかっているのか。
事務局	コロナ禍で運動やスポーツが制限されていた点や、便利になってきている中で生活スタイルの変化で、階段や徒歩ではなくエレベーターや車の利

	<p>用により日常的に体を動かす機会が不足していることも考えられる。</p> <p>また、先ほど二極化という話も出ていたが、幼い頃から運動をあまりしてこなかった結果、苦手意識が生まれ、ますます運動しなくなることも考えられる。子供のときから体を動かす楽しさを覚えれば、それが体力向上につながるかと思う。</p>
D 委員	<p>小学生の兄弟がいるが、小さい頃からゲームや電子機器によく触れている。それを否定するのではなく、逆にそれを活かし、学校行事でもVRでスポーツ体験ができる施設などを活用してもいいかと思う。</p>
委員長	<p>国はスポーツDXを掲げているが、自治体レベルでは難しい。ただ、吹田市にはそのような資源もあるので、それを活用できればよい。</p>
E 委員	<p>小さい公園に多くのシニアの皆さんが集まりリズム体操をしている。コロナ禍でフレイルになりかけたような人も、制限が緩和されてからは、また体を動かしに来ってくれるようになってきている。いろいろな施設があると思うが、特に高齢者にとっては身近にあって通いやすいことが必須である。</p> <p>また、近年の環境変化により夏期は非常に暑く熱中症の危険性もあるので、体育館やグラウンドが利用しにくくなるので、利用しやすくなる工夫をしてほしい。</p>
委員長	<p>グラウンドに日陰を作るなどの工夫もできればいいかと思う。</p> <p>続いて、議題3その他について、事務局から説明をお願いします。</p>
事務局	<p>【議題（3）その他】</p> <p><今後のスケジュール等について説明></p>